

10月11月 行事予定

月	日	曜日	行事	時間	集合場所	参加費
10	5	土	田畑作業体験(稲刈り)	13:00 ~ 16:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	6	日	ジュニアくらぶ(稲刈り)	13:00 ~ 15:00	レストハウス	-
	6	日	秋の野鳥観察会	8:00 ~ 11:00	レストハウス	300/100
	6	日	DE&I フェスティバル	11:00 ~ 16:30	ノースポート・モール2F	
	12	土	田畑作業体験(サトイモ掘り)	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800/600
	12	土	田畑作業体験(サトイモ年間コース・収穫)	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	
	27	日	里山まつり 模擬店・竹細工体験 ネイチャークラフト・里山まつりコンサート 綿菓子体験	10:00 ~ 15:00	円形広場	入場無料
	5	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	12	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	19	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
11	10	日	ミツバチ飼育体験会	10:00 ~ 12:15	レストハウス	300
	23	土	田畑作業体験(サツマイモ掘り)	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800/600
	24	日	晩秋の植物観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	24	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
	9	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	16	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	16	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別	9:30 ~ 11:30	宮谷戸炭焼施設	300/100
	23	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。ホームページ <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmv.ne.jp



10月 2024年度 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表			
日付	曜日	9時-12時	13時-17時
1	火	(G): はさの組立て	
3	木	(H): パラ花壇、除草、消毒	
8	火	(B3): 里山保全体験(竹林の手入れ・Hilty(9:00-11:00)) (通常の保全ボランティア活動は休み)	
10	木	(D/G): 植栽地の草刈り、畑周りの草刈り	
17	木	(A4): 階段~園路周りの草刈り	
22	火	(B3): 水路沿い雑草刈り-ヌスピトハギ除去	
24	木	(I-①): 竹細工の日(里山まつり販売用)	
29	火	(I-①): 脱穀作業	
31	木	(園内): パトロール、(I-①): 部会会議	

里山の恵み



■PURE ハチミツ
1びん/1800円
グラム売り 1g/8円

■竹細工各種
200円~300円



■青竹材
200円/1m



■バラ炭 袋入り 750g/300円
5Kg/1000円

■竹酢液 濾過品 2L/500円
蒸溜品 500ml/500円

編集記

10月に入ります。涼しい風ときれいな月は秋の訪れを感じます。これから朝晩もっと涼しくなり虫の声も盛んに聴こえてくるようになるでしょう。暑かった夏を懐かしく思いながらも、生活の中で四季の移り変わりを感じています。

秋の大イベント♪10月27日(日)「里山まつり」開催いたします。ご来場を心よりお待ちしております。

事務局 M.Y



都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園



里山便り

9月号

令和6年9月30日 第264号

発行: 特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央57-8 Tel& Fax 045-941-0987

■ 9/6 (金) 茅ヶ崎台小学校 出前授業 9/6 (金)

7月に中央公園に来て竹の話の授業を受けてくれた3年生の第2弾、今回は8名のサポーターが小学校に行つての出前授業です。

朝8時半前、小学生たちの登校にまじって校門をくぐり、校長先生に案内されて「都筑中央公園里山倶楽部様 本日はご来校ありがとうございます」との表示に微笑みながら、3階の図工室へ。篠崎先生のクラス34名が8グループに分かれて、約3時間の授業の始まりです。

1時限目は竹のけん玉の製作です。持ち込んだ竹材をノコギリでカット、紙やすりでバリを取り、軸と輪っかの部品を糸でつなげていきます。各グループにサポーターがひとりずつ、進め方や作り方の細部はグループ毎に少しずつ違います。



2時限目はぶんぶんゴマの色づけと糸通し。糸を結ぶ作業はあまり得意ではないのかな? コマを回すのはみんな問題なさそう。

20分の休憩時間のあと3時限目。グループ毎に今日の作業で工夫したことや難しかったことなどを話し合い、最後にみんなで記念撮影。無事に授業が終了しました。

生徒たちも「竹を使ってどんなものを作りたいか」をいろいろ話し合っているようで、これから第3弾、4弾、と続いていくようなら少し工夫が必要かと宿題をもらい帰路につきました。

M.S

■ 里山保全体験(竹細工・竹とんぼで遊ぼう) 9/7 (土)

事前に申し込まれた2家族と前日に訪問した茅ヶ崎台小の出前事業からの続きの1家族を加えた計3家族、およびサポーター5名で実施しました。いつもは竹林での竹の間伐から始めますが今回はそれは無し、代わりに竹細工で作ったもので遊ぶ時間を十分にとりました。先ず、竹とんぼの羽根の中央にアルミ箔を巻いてロウソクの炎にかざし曲げ、軸にボンドを付けて接着、乾くまでしばらく保管。

次は竹のヘリコプターの製作。9点の部品をノコギリとナタを使って順番につくっていき、最後に輪ゴムを使って組立て。



1時間ほどかけて、胴体12cm径、羽根の回転30cm径、全長40cmほどの大型ヘリコプターが3機完成しました。竹細工の最後は竹のけん玉の製作。前もって用意された素材に糸を通して難なく完成。

さて、いよいよ最初に作った竹とんぼを飛ばす時がきました。円形広場前の芝生に出て、先ずサポーターの平野さんに飛ばし方のコツを教えてもらったあと、各々自分で完成させた竹とんぼを「そーれ!」。羽根の曲げ角度もばっちりて広々とした青空に向かって飛び立ちました。

M.S



■ 藍の生葉染め体験 9月15日(日)

今年の夏はとても暑かったので、藍の育成が心配でしたが、虫喰いは多かったものの十分な量を採取することができました。

参加者全員で藍を畑から採取して、葉のみをちぎり、染料がよく抽出できるよう細かく細断しました。細かくする作業は根気がある作業なので、子供達にはちょっと楽しくない作業ですが、頑張って全部を細かくすることができました。



細かくした藍の葉は水切りネットに入れて、水の中で揉み揉みして染料にします。これも根気に加え、力のいる作業ですが、良い色に染めるためには手を抜けない作業です。参加者は最初はお喋りしながら楽しく揉み揉みしていましたが、だんだんと口数が少なくなっていました。それでもお父さん、お母さんが頑張ってくれたおかげで良い染料が抽出できました。お疲れ様でした。その甲斐あって染め上がった作品は良い色に染まりました。各々、絞りをに入れて個性的な作品が今年も出来上がりました。親子自然体験部会 T.N.



■ 炭焼き 9月の活動/イベント

※9月21日(土) 華炭作り

7月に続いて今年度2回目の華炭作りでしたが、まつぼっくりやクルミなどの従来の素材に加えて、生ミカンや生ゴーヤ、木製の自動車を使いました。また蒸焼きを効果的にするために一部の素材をアルミホイルでくるむなどの工夫を試みました。途中で出る煙の色・量をつぶさに観察しながら焼きの終了時期を適切に判断した結果、どの素材もきれいに仕上げることができました。アルミホイルの効果も良好でした。



※自作の無煙炭化器による消し炭作り/第1回実験

前号でお伝えしたように、農作業用(土壌改良)や焼き芋の燃料などとして需要が出てきたバラ炭作りのために無煙炭化器を自作し、その性能の確認とより良いバラ炭製法の各件検討を行いました。

材料: 半年以上乾燥した竹、装置: 地面にレンガを敷き、その上に無煙炭化器をセット、温度管理: 熱電対で燃焼温度をモニター(400~600°C)、燃焼時間: 1時間程度、消火方法: (蓋をせず解放のまま) 水をかけ、一気に冷却後、放置・乾燥

結果/簡便な操作で、炭の出来もまずまずでした(現在乾燥中で収量は出せず。ごく少量の燃え残りあり)。もちろん煙は着火時以外ほぼなし。自作の無煙炭化器の効果が確認できました。

次回10月は、消火方法として水は使わず、燃焼後、炭化器に蓋をして空気を遮断、自然冷却する方法を検討する予定です。



■ 秋のキノコ観察会 9/7(土)

当日の天気は晴れ、参加者22名。まず会議室で講師、神奈川キノコの会会長、三村氏のキノコの分類等の説明を受けた後、野外へ出ました。レストハウスを右に出てすぐの遊歩道及び斜面で、参加者は、キノコを求めて堰を切ったように採取を始めました。



その後、公園内を回りながら、採取を続け、採取したキノコをレストハウスに持ち帰り同定、45種のキノコが観察されました。最後に、採取したキノコについての説明があり質疑応答、アンケートを記入していただき観察会を終了しました。

調査観察部会 T.N.

■ 大池の生き物観察会 9/8(日)

当日の天気は晴れ、参加者20名、ボランティア3名で観察会を開催しました。

参加者は、レストハウス2階で受付を済ませた後すぐに1階に下り、ザリガニの釣り方等を教わった後、釣り竿等を持って大池に行きました。大池では、グループ毎に好きな場所に陣取り、釣り糸を垂れ、網かごを仕掛けました。ザリガニは少ししか掛かりませんでした。色々な工夫を凝らし、スジエビや小さな魚を捕っている参加者もいました。

また途中で、仕掛けた網かごを引き上げてもらい、入っていた魚等を回収しましたが、多くの魚達が捕れていて、「うぉ〜、すごい!」という声も上がりました。ザリガニ釣り終了後、レストハウス1階で採取した生き物について説明がありました。また投網の実演もありました。参加者の皆さんは、網を投げ、網が上手く開く様子を興味津々に見ていました。

今回の観察会では、大池で5種、早淵川で採取した5種の生き物を観察しました。

最後に、質疑応答、アンケートを記入していただき、観察会を終了しました。

調査観察部会 T.N.



■ 子育て地蔵まつり 9/14日(土)

秋とはいえ真夏にも劣らない気温急上昇の暑いこの日でしたが、早淵川沿いにお店が立ち並び、毎年恒例の子育て地蔵祭りに参加しました。

里山倶楽部の出し物としては、タケトンボ、ぶんぶんゴマ、カエルカスタネット、竹けん玉、タケポックリなど、里山の竹林整備で出た竹を利用した竹細工の販売と、それらの製作過程を、竹をノコギリで引いたり、ナタで割ったり、絵付けをしたりして体験してもらいました。

体験者を呼び込むまでもなく、いろんな体験を自ら進んで参加され、公園の活動で一番大切な、SDGSの取り組みでもある持続可能な管理の一つ、不要な竹を切り、細かく割り、チップにし、発酵させて土に戻す、その説明をした後、工程の一部、竹をナタで割る体験が好評で、我も我もとナタにハンマーをおとし、爽快地に割り、日常ではできない体験をしていただきました。時々流れるさわやかな川風に癒され、暑く忙しい1日でしたが、たくさんの交流ができ、里山倶楽部もお地蔵様に感謝です。ありがとうございました。

事務局 C.M

